



**主要諸元：(e-Power ハイウェイスター)**

- 全長×全幅×全高／4,770×1,740×1,865mm
- ホイールベース／2,860mm
- トレッド／前：1,485mm 後：1,485mm
- 車両重量／1740kg
- 最小回転半径／5.5m
- エンジン／1,998cc 直列3気筒 DOHC
- 最高出力／84ps : 6,000rpm
- 最大トルク／10.5kgf・m : 3,200~5,200rpm
- モーター最高出力／136ps
- モーター最大トルク／32.6kgf・m
- JC08モード燃費／26.2km/ℓ
- ミッション／一
- ブレーキ／前：ベンチレーテッド・ディスク  
後：ディスク
- タイヤサイズ／195/65R15
- 駆動方式／FF
- 乗車定員／7名
- 車両本体価格(札幌地区)／3,178,440円(税込)～

革新的なe-POWERが、  
さらに磨き上げられている

を見せてくれる意味で興味深い。  
e-POWERは「電動パワートレイン  
システム」が正式名称で、その働きは大き  
く4つに分けられる。(1) 駆動用バッテ  
リー残量が十分にある時。モーターのみ  
が動き、エンジンは停止している。(2) 駆  
動用バッテリー残量が少ない時。モー  
ター駆動とともにエンジンが動いて発電  
する。(3) 急加速や登坂の時。モーターと  
エンジンが働くが、モーターに大電力を供  
給するため、発電モーターから駆動モー  
ターエンジンへの直接給電が行われる。(4)  
減速・降坂時。エンジンを止め、駆動モー  
ターを介して回生エネルギーを駆動用  
バッテリーに蓄電する。

これらが自動的に制御されるのに加  
え「e-POWER Drive」という機  
能もある。ノーマルの他、「S」と「ECO」、  
2つのドライブモードが選択できるのだ  
が、いずれも減速力が強く、リーフの  
e-POWERのように働く。アクセルか  
ら足を離せばブレーキを踏んだように減  
速が始まり、アクセルだけで加減速をコ  
ントロールできるので、特に北海道の冬  
道や下り坂などには有効だろう。ここま  
ではノートにも搭載されている機能な  
だが、セレナでは新たにマナーモード/  
チャージモードが追加された。通常は  
バッテリー残量に応じてエンジンによる  
給電を制御しているのだが、手動でバッ  
テリー残量を増やし、モーターだけで走

ことができるという便利機能だ。

ユーザーの毎日を考慮した、  
至れり尽くせりの機能

行することができるという便利機能だ。

自動運転支援技術に加えe-POWERも導入  
進化を続けるセレナに、  
新たな魅力を

—プロフィール—  
日産を代表するミニバン、セレナに電  
気自動車「e-POWER」が追加された。  
'16年11月、ノートに初搭載された。

セレナのデビューは'91年、「99年に二代  
目となり、乗用タイプミニバンとして両  
側スライドドアを初採用したほか、外観  
もぐっとスタイリッシュになった。'05年  
に三代目、「10年に四代目と着実に進化を  
続け、現行の五代目となったのは'16年で  
ある。四代目では'12年にスマートシング  
ルハイブリッド「S-HYBRID」、五代  
目ではミニバンクラス世界初となるブロ  
パイロット（高速道路同一車線自動運転  
技術）が採用され、各々大きな話題となっ  
た。

e-POWERは、発電専用のガソリンエン  
ジンと駆動用バッテリー、駆動用モー  
ターを併用することで、スマートな走り  
と低燃費を実現するシリーズ（直列）方式  
とハイブリッド方式などがあるが、  
e-POWERは駆動にモーターのみを  
用いることから、日産では「充電の必要な  
ない電気自動車」という位置付けにして  
いる。



# 自動運転支援技術に加えe-POWERも導入 進化を続けるセレナに、 新たな魅力を

# NISSAN SERENA

■テキスト=横山聰史 (Lucky Wagon)  
■Photo=川村勲 (川村写真事務所)  
■取材協力=北海道日産自動車 北店  
Tel(011)711-6111

快適装備、安全装備はたっぷりと用意  
されている。グレードによって標準装備  
もあればオプション設定もあり、すべて  
を紹介することはできないが、「さすが  
ユーチャーのことを考えているな」と思わ  
されるものを記しておきたい。

まずはインテリジェントルームミラー。  
荷物や乗員によって通常ミラーからの視  
界が妨げられる場合、ルームミラーをカ  
メラ映像に切り替えることができる機能  
だ。夜間や悪天候時にもクリアな視界を  
保ってくれる。また日産が以前から取り  
入れているインテリジェントアラウンド  
ビューモニターも便利。前後左右のカメ  
ラにより、車両を上空から見下ろした映  
像を表示してくれる。

さらに駐車スペースへ自動でハンドル  
を操作してくれるインテリジェントパー  
キングアシスト、ヘッドライトを自動で  
切り替えるハイビームアシスト、低速衝  
突軽減ブレーキ機能、標識検知機能、イン  
テリジェントDA（ふらつき警報）、足先  
をボディ下に入れて引くだけで自動開閉  
するハンズフリーオートスライドドア、  
自動スライドドアを途中でストップでき  
る機能、前席背面と3列目の左右に用意  
されたUSB電源ソケット、手を汚さず  
に給油キャップを開けられるキャップレ  
ス給油口、シートバックのテーブル……。  
大きなミニバンボディのガソリンエン  
ジンと駆動用バッテリー、駆動用モー  
ターを併用することで、スマートな走り  
と低燃費を実現するシリーズ（直列）方式  
とハイブリッド方式などがあるが、  
e-POWERは駆動にモーターのみを  
用いることから、日産では「充電の必要な  
ない電気自動車」という位置付けにして  
いる。



## ディーラーメッセージ

北海道日産自動車 北店  
カーライフアドバイザー

**河野 健太さん**

プロパイロットをはじめとする自動運転支援技術を盛り込み、ご好評をいただいているセレナに、e-POWERが搭載されて魅力的なバリエーションが揃いました。日常的に使用されるファミリーカーだからこそ、安全性と快適性を最新の技術でサポートする。それによって運転が楽しくなり、豊かなカーライフに貢献する。セレナ e-POWERはそうした方向性のもと、とても魅力的なミニバンに仕上がっていると思います。ご試乗にはもってこいのシーズン、ご来店お待ちしております。



## インプレッション 積極的に機能を 楽しみたいミニバン

象を払拭するには十分すぎるほどの装備・機能を備えているのも、セレナの存在感を確固たるものにしている。

グレードごとの装備とオプション設定については、ぜひカタログとディーラーで詳細をお確かめいただきたい。

さて試乗インプレッションでは、あえて山道を走ってみた。広大な室内空間を実現するため、全長4,770×全幅1,740×全高1,865mmという大柄なボディサイズだし、車両重量も1.7t前後と決して軽くはない。

ノートで評価を得たとはいっても、基本的に同じe-POWERシステムを搭載して大丈夫なのか？ しかし実際に走り出してみると、それは杞憂に終わつた。セレナはモーターの美味しいところを美味しいままで使っている。

エンジンとモーターの大きな違いはトルク特性にある。エンジンが最大トルクを発生する回転域は決まっており、それが狭いほどピーキーで扱いづらくなり、広ければフラットトルクで扱いやさくなれる。

大排気量エンジンやディーゼルは1,500rpmあたりからトルクがあるが、モーターはそれよりさらに低回転域からトルクを発生する。多人数での移動を考慮したミニバンで重要なのは、トルク

であって馬力ではない。その意味で、e-POWERシステムはセレナにとってもマッチしている。そしてクルマとしての基本性能も文句無し。具体的にはステアリング特性や加速減速時の挙動などであるが、いずれにおいても「スムーズ」という言葉がぴったりだ。強めにアクセルを踏めば、発進からスマースなトルク感で加速してくれるし、アクセルだけで車速をコントロールできる。タックイン時の挙動も安定しており、弱アンダーからニュートラル付近の印象。ボディ剛性も高く、安定した姿勢のままコーナーを抜けることができることに替えはボタンひとつなので、ぜひ積極的に活用してほしい。

モーター走行時の静肅性も特筆に値する。路面状態が良ければタイヤの転がる音しか聞こえない。モーター駆動がありにも静かなので、エンジンが始動した時に敏感に反応してしまうが、エンジン音もかなり抑え込まれている。試乗を終えて自分の車に乗り込んだ時、セレナの静肅性に気づかされることになった。大きくて運転しづらいのでは？ 走りを楽しめないので？ ミニバンにつきまとうこうした懸念は、セレナに試乗してみるとことでかなり解消されるはず。それほど完成度が高く、ユーザーオリエンティッドな一台と言える。